令和４年度　　（　宮城県立利府支援　）学校の研究概要　～令和５年１月末現在～

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　運営委員氏名（　　佐藤　智恵　　）

|  |  |
| --- | --- |
| 研究テーマ | 「児童生徒の実態に応じた資質・能力の育成を目指した指導の在り方を探る」（仮）～主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業改善を通して～ |
| 研究目標 | 新学習指導要領の理念，内容について共通理解を図るとともに，児童生徒に身に付けさせたい資質，能力を明確にしながら授業改善に取り組み，児童生徒の実態に応じた資質，能力の育成を目指した指導の在り方を探る。 |
| 研究内容・方法研究計画等 | **研究の内容**（１）新学習指導要領について教員一人一人の理解を深める。（２）学部ごとの教育目標から児童生徒に身に付けさせたい資質，能力を明確にし，授業づくりに生かす。（３）個々の実態把握から，児童生徒の実態に応じた資質，能力を育成するための授業づくりを「主体的・対話的で深い学び」に視点をあて再検討していく。**研究の方法（1年次）****（１）「新学習指導要領」，「主体的・対話的で深い学び」についての研修会（７月～８月）**「新学習指導要領」，「主体的・対話的で深い学び」について研修会を行い，教員間で新学習指導要領において求められている子どもに身に付けさせたい資質，能力について改めて共通理解を図り，研修の内容に基づいた授業改善，授業づくりの方法を確認する。**（２）研究授業（指導案検討会，事後検討会含む）（９～１２月）**　　研修会の内容を基に授業づくりを行い，学部ごとに研究授業を行う。（授業者１名）**（３）実践報告の作成（１～３月）**研究授業，事後検討会等，今年度の取り組みを学部ごとにまとめ，成果，課題を来年度につなげられるよう実践報告としてまとめる。 |
| 研究の概要　・研究経過　・研究成果等 | 　令和４年度より新学習指導要領に基づく，「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を行うことをテーマに，新学習指導要領に関する研修や小，中，高のそれぞれの学部で研究授業を行いながら４月より研究を進めてきた。新テーマとなって１年目の今年度は，新型コロナウィルス感染症の感染状況により，当初企画していた全職員での研修や授業のための事前検討会が動画視聴による個人研修になったり，実施できなかったりするなど計画通りに進めることが難しかった面もあったが，１２月までの段階で各学部の実態に合わせた実施しやすい形態で（細案形式の授業を実施して全体で検討をする，略案形式で２つの授業を実施し，グループに分かれて検討をするなど）研究授業を行うことができた。　今後は行われた研究授業を基に，それぞれの学部ごと「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業内容や配慮，工夫点の振り返り，育成したい能力や資質等へのアプローチ，課題点等をまとめ３年計画となる本研究の２年目へとつなげていきたい。 |

※本様式内で簡潔にまとめてください。なお，項目名や枠の大きさは任意に変更していただいて結構です。